

テーマ	1	暮らし・コミュニティ				
創造戦略	3	地域マネジメント創造戦略 ～地域資源の活用の推進～				
「成果指標」 実績値の推移に係る検証と今後の取組		(現状値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	----->	34年度 (目標値)
3-① 地域活動を活発化する環境づくり						
14	「町内会加入率」	71.1% (24年度)	70.5% (25年度)	70.1% (26年度)		75% (34年度)
	・町内会加入世帯数は一貫して増加傾向にあるが、核家族化や単身世帯の増加、転入による社会増などにより総世帯数がそれを上回るペースで増加しているため、実績値は横ばいとなっている。 ・今後も、不動産関連団体等と連携した町内会等の活動や情報提供に取り組むとともに、テレビ等のメディアを活用した普及啓発や町内会が取り組む町内会活動の担い手育成等の取組支援を実施していく。					
15	「市内に主たる事務所を置くNPO認証法人数」	857団体 (24年度)	887団体 (25年度)	914団体 (26年度)		1,300団体 (34年度)
	・24年4月の特定非営利活動促進法の改正に伴って所轄庁が北海道からより身近な札幌市が窓口となったことにより、緩やかな増加傾向となっているものの、実績値はほぼ横ばいことどまった。 ・今後も、市民の市民活動への興味・関心を高めることで参加を促進するとともに、NPO法人制度の周知を積極的に行っていく。					
3-② 地域マネジメントの推進						
16	「市民まちづくり活動」に参加したことの市民の割合	41.8% (24年度)	32.4% (25年度)	94.1% (26年度)		100% (34年度)
	・成果指標調査の回答の表記を改善することにより、「市民まちづくり活動」の活動実績が広く反映されたほか、幅広い世代の市民によるまちづくり活動への参加を促進する取組を行っていることも一因となり、実績値は上昇している。 ・今後も、まちづくり活動への関心を高めるため、町内会等の活動に関する具体的な取組事例などの発信を強化するとともに、子どもの頃からまちづくり活動を知り、体験する機会の創出に取り組んでいく。					
17	「町内会加入率」 【再掲 創造戦略3 NO.14】	71.1% (24年度)	70.5% (25年度)	70.1% (26年度)		75% (34年度)
	・町内会加入世帯数は一貫して増加傾向にあるが、核家族化や単身世帯の増加、転入による社会増などにより総世帯数がそれを上回るペースで増加しているため、実績値は横ばいとなっている。 ・今後も、不動産関連団体等と連携した町内会等の活動や情報提供に取り組むとともに、テレビ等のメディアを活用した普及啓発や町内会が取り組む町内会活動の担い手育成等の取組支援を実施していく。					
3-③ 雪と共存した暮らしの推進						
18	「冬の暮らしに関する地域内協働の取組に参加した団体数」	1,096団体 (24年度)	1,132団体 (25年度)	1,150団体 (26年度)		1,400団体 (34年度)
	・26年度は、地域内協働の取組について継続的に募集案内などを掲載したが、参加団体数は横ばいとなっている。 ・今後も、市民・企業に対して、様々な地域内協働の取組を広報誌やホームページなどを通じて情報発信し、雪と共存した暮らしの実現に向けた環境づくりを進めていく。					
19	「ウィンタースポーツをする市民の割合」	11.7% (24年度)	13.8% (25年度)	12.6% (26年度)		25% (34年度)
	・実績値は減少しているが、スノーボードの実施率は上昇しており、オリンピック選手等の活躍が良い影響を与えていると考えられる。 ・子どもを対象とした施策など、短期間では数値に反映されにくいものもあるが、今後も、市民が気軽にウィンタースポーツにふれられる施策を展開するなど、ウィンタースポーツの定着を図り、実績率を向上させていく。					